

## 【82】食パンは鹿の好物

もう半世紀近くの昔のことですが、和歌山市に住んでいたとき、子供たちを連れて奈良へ遊びに行きました。

初めての奈良公園で、沢山いる鹿にやる餌として「鹿せんべい」というのを買い求めて鹿にやるのですが、鹿はプイと横を向いてあまり喜んでいないようです。

そこへ地元にお住まいという感じの御婦人が、バッグから何やら取り出して鹿にやると、沢山の鹿が集まって来て、くれくれとせがんでいるのです。

何をやっているのかと近寄って見ると、鹿せんべいではなく食パンの残り屑でした。

へエーツと感心して、次の機会に奈良公園を訪れたときは、自宅の近所の日頃から懇意にしていたパン屋さんから、サンドイッチの作りカスの食パンの耳を沢山わけてもらい、子供たちに持たせて出かけました。

果たして鹿にパンの耳をやると皆大喜びして、我々家族のまわりに多くの鹿が集まってきて、他の観光客や修学旅行の生徒さんたちから羨ましがられました。

少々弁解しますと、現在では鹿せんべい以外の餌を鹿にやることは禁止されているとのことですが、半世紀前にはそのような規則は目につきませんでした。

人間に限らず野生動物の鹿でも、毎日同じような物を食べていると飽きてきて、たまには異なるもの、もっとおいしいものを食べたいのでしょう。

最近山中から、イノシシ、サル、シカ、クマが人里に出没し、農作物や果樹を食い荒らし、時には人に危害を及ぼすという話が多くなりましたが、半世紀前の体験を思い出し、動物たちもおいしい食物を欲しているのだと妙に共感を覚えるのです。